

子育てひとくちメモ11 失敗は成長のチャンス2

子どもが失敗しているときには、まず、子どもの考えを聞いてみます。そうしてさらに、子どもの適切な側面に注目しましょう。例えば、「努力はしていたじゃないの」とか「前は解けなかった問題が解けていたね」とかいうように。どのような場合にも適切な側面はあります。それを探し出して、そこに注目します。その上で子どもを信頼して任せてみたいのです。ときには、子どもから援助を求められることがあります。また、親が子どもを援助したいと感じることもある。そのような場合には、まず話し合った上で、何をどう協力するかを決めて、その範囲内で子どもを援助します。(つづく)

(津山工業高校スクールカウンセラー：大森 浩)